

# 使用材料及び付近見取り図

旧水栓番号<sup>※</sup> 第 号

① 新水栓番号 第 〇〇〇〇〇〇 号

## 使用材料

品名	口径・規格	単位	数量	承認番号
(分岐材料)				
サドル付分水栓	φ200×φ20	個	1	
防食コア		個	1	

(弁栓材料)				
ボール止水栓	φ20	個	1	

(ボックス材料)				
止水栓BOX	三原市型	個	1	

(給水管材料)				
ポリエチレン二層管	φ20	m	3.3	

< 布設管平面延長 >				
(公道上)	PPφ20	m	2.5	-
(宅地内)	PPφ20	m	0.5	-

本工事は、水道法施行令第6条に適合した材料を使用しています。

給水装置場所  
三原市 西野口丁目△-△

直圧給水 1階 2階 3階  
4階 5階 その他

受水槽容量

高架水槽容量

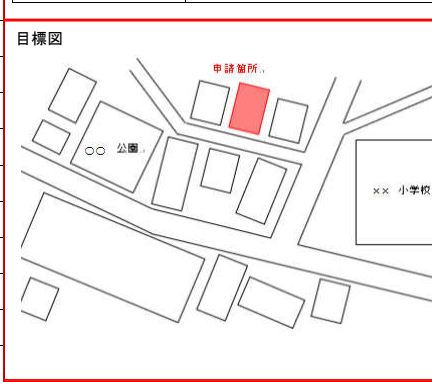
加圧ポンプ付受水槽

止水栓止番号

共同管番号

④ ⑤ 摘要

配水施設整備	令和〇	年度	〇〇	号
完成検査日	令和×	年	×	月
受注者	△△建設株式会社			



## 使用材料及び付近見取り図について

- ① 分岐1箇所について1枚作成してください。共同管等、水栓番号が複数ある場合は、どの水栓の分岐が分かるように、全ての水栓番号を記入してください。  
給水装置場所は、住宅地図等と照合し、共同管等、水栓番号が複数ある場合は、位置が特定できる範囲で記入してください。
- ② 使用する管種ごとに記入してください。記載する給水管の延長は、管の実延長(水平距離と垂直距離を加えた延長)とし、小数点第1位止め(四捨五入)としてください。
- ③ 管平面延長については、公道内と敷地内における給水管の平面延長(垂直距離を加えない延長)を記入し、⑦「止水栓(第1・第2)及び分岐位置詳細図」に記入する延長数と合致するようにしてください。
- ④ 共同管番号が不明な場合は、維持給水係にお問い合わせください。
- ⑤ 【種別】覧は、配水施設整備、水道改良など請負契約書に明記されている種別を記入してください。
- ⑥ 対象地(家屋)を赤枠で囲い表示し、方位を記載してください。なお、北を上とする場合は方位の記載は不要です。  
共同管の場合は別途分岐位置を赤丸で囲うなど、分かるように表記してください。
- ⑦ 分岐箇所及び止水栓の位置が目標図を参考に特定できるよう、寸法を記入してください。(道路幅員、配水管から官民境界までの距離、官民境界から止水栓までの距離、民境界から止水栓までの距離等)  
配水管及び給水管の管種・口径を記入してください。⑥「目標図」と向きを一致させて記入してください。

### (記入要領)

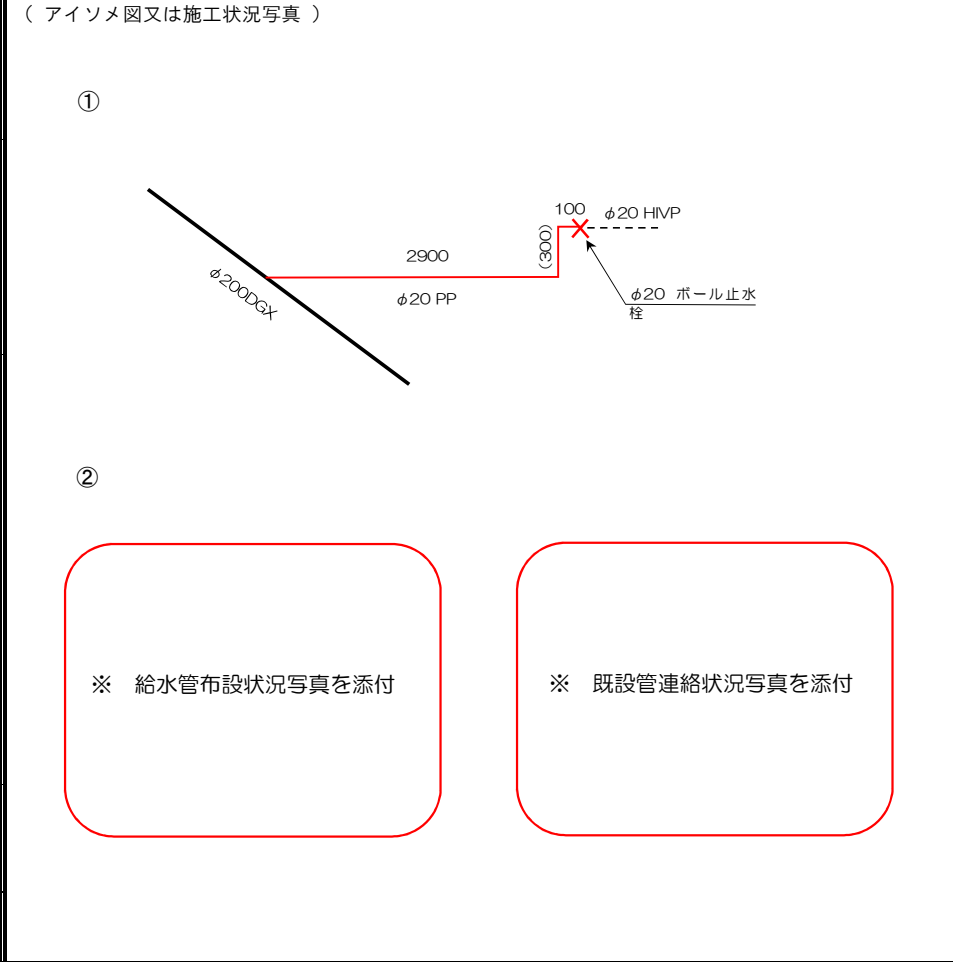
- 1 給水装置場所は、町名・番地まで正確に記入すること。ただし、家屋がない場合は町名までとする。
- 2 摘要の【種別】は、請負契約書に記載されている種別を上書き記入すること。また、「完成検査日」は当該工事の完成検査日を記入すること。
- 3 布設管平面延長の「口径・規格」欄には、管種を記入すること。(PEPやVLPなど)
- 4 ※欄は、発注者が記入する。

(水道部発注工事用)

# 給水装置完成配管図 (記入例)

指定給水装置工事事業者 番号 ○○ 名称 △△建設株式会社	給水装置工事主任技術者 水道 太郎 (印)
免状番号 □□□□□□	

検査事項			
水圧検査	検査年月日	令和×年×月×日	
	検査基準	水圧1.75MPaを1分間以上保持すること。	
	判定	分岐部	試験水圧 1.75 Mpa (合格)・不合格
	判定	給水管	試験水圧 1.75 Mpa (合格)・不合格
	確認年月日	令和×年×月×日	
	検査基準	通水確認後、遊離残留塩素0.1mg/l以上であること。	
	採水場所	宅内給水栓	
	判定	残留塩素	0.3 mg/l (合格)・不合格



## 給水装置完成配管図について(アイソメ図・写真を添付する場合)

- ① 配水管については、管種・口径を記入してください。給水管については、管種・口径・延長を記入してください。水平距離と垂直距離が分かるように記入(垂直距離は括弧書き)してください。接合した既設管の管種と口径も記入してください。
- ② 分岐部分及び給水管の布設状況が分かる写真を添付してください。埋設深度が分かるように給水管にスタッフをあてた写真を添付してください。水路の下を配管したときは、伏越箇所における給水管の深さが分かるようにスタッフをあてた写真を添付してください。既設管接合箇所の写真を添付してください。

(記入要領)

- 耐圧検査の判定で、「給水管」とは「分岐から第1止水栓までの給水管」をいう。
- 遊離残留塩素の確認は、通水確認後少なくとも15分以上水を捨てた後、実施すること。
- アイソメ図を明記する場合は、分岐部及び給水管引込状況写真を添付すること。
- アイソメ図を省略する場合は、上記状況写真に加え、既設管接続状況写真を添付し、配管延長を明記すること。この場合、垂直延長は括弧書きとする。

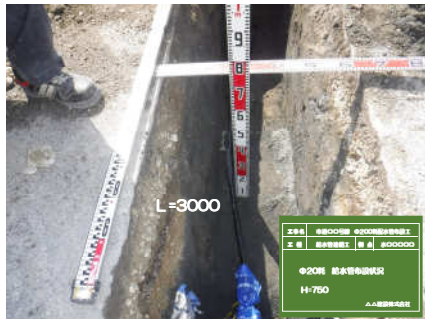
# 給水装置完成配管図 (記入例)

指定給水装置工事事業者 番号 ○○ 名称 △△建設株式会社	給水装置工事主任技術者 水道 太郎 (印)
	免状番号 □□□□□□

検査事項			
水圧検査	検査年月日	令和×年×月×日	
	検査基準	水圧1.75MPaを1分間以上保持すること。	
	判定	分岐部	試験水圧 1.75 Mpa (合格)・不合格
	判定	給水管	試験水圧 1.75 Mpa (合格)・不合格
	確認年月日	令和×年×月×日	
	検査基準	通水確認後、遊離残留塩素0.1mg/l以上であること。	
	採水場所	宅内給水栓	
	判定	残留塩素	0.3 mg/l (合格)・不合格

(アイソメ図又は施工状況写真)

①



※ 既設管連絡状況も添付してください。

## 給水装置完成配管図について(写真のみを添付する場合)

※写真に延長(水平・垂直距離)を記入することで、アイソメ図を省略できます。

① 分岐部分及び給水管の布設状況が分かる写真を添付してください。埋設深度が分かるように給水管にスタッフをあてた写真を添付してください。

水路の下を配管したときは、伏越箇所における給水管の深さが分かるようにスタッフをあてた写真を添付してください。

既設管接合箇所の写真を添付してください。

上記写真に水平距離、垂直距離が分かるように記入してください。その際、垂直延長は括弧書きとしてください。

### (記入要領)

- 耐圧検査の判定で、「給水管」とは「分岐から第1止水栓までの給水管」をいう。
- 遊離残留塩素の確認は、通水確認後少なくとも15分以上水を捨てた後、実施すること。
- アイソメ図を明記する場合は、分岐部及び給水管引込状況写真を添付すること。
- アイソメ図を省略する場合は、上記状況写真に加え、既設管接続状況写真を添付し、配管延長を明記すること。この場合、垂直延長は括弧書きとする。